

# いろいろな図書館

ひとくちに図書館と言っても、いろいろな種類の図書館があることをご存知ですか？ここではその種類と特徴をご説明します。

## ●市町村立図書館

地域の住民への直接サービスが主な役割。地域に密着したサービスを行っている。おはなし会の開催などのほか、学校図書館と連携して地域の子どもたちへの読書支援をしている図書館も多い。一般的な図書が充実しており、読書を楽しみたい人や調べものをしたい人など、誰でも気軽に利用することができる。

## ●都道府県立図書館

県民全体にサービスを提供するほか、その県の中核図書館として、市町村立図書館を支援している。収集した資料の保存につとめ、地域の資料保存センターとしての役割も担っている。調査・研究機能が充実しており、調べものをするのにおすすめ。最寄の市町村立図書館を通じて利用することも可能。

## ●大学図書館

その大学に所属する教員や学生などに資料を提供するのが主な役割。最近では地域住民に対してもサービスを行う大学も増えてきているが、利用には紹介状が必要となる場合もあるので、事前に利用条件を確認しておくこと。公共図書館にはない専門的な資料を多く所蔵している。専門的な調査・研究におすすめ。

## ●専門図書館

特定の専門分野の資料のみを扱う図書館。愛知県内では議会図書室やアトライブラリー、愛知県産業労働センター「あいち情報ステーション」などがある。自治体が設置するもののほか、民間企業がその調査・研究のために設置するものもある。利用が特定メンバーに限られることもあるので注意。

## ●国立国会図書館

国立の図書館として、国内出版物を網羅的に収集・保存している。本を出版した者は国会図書館に納本する義務がある。全国の図書館サービス網の中心となる「図書館の図書館」としての役割があり、最寄の図書館を通じて国会図書館の資料を取り寄せることができる(ただし館内利用のみ)。また、郵送複写サービスは個人でも利用できる。満18歳以上の人は直接訪れて利用することも可能。

## ポイント「目的に合った図書館を選ぶ」

上記のように様々な図書館がありますが、それぞれ得意分野があります。本を探す場合、最新の小説なら市町村立図書館、専門書なら大学図書館、それでも見つからない時は国立国会図書館、というように目的の本がどの図書館にあるかを考えて探すのがポイントです。

